

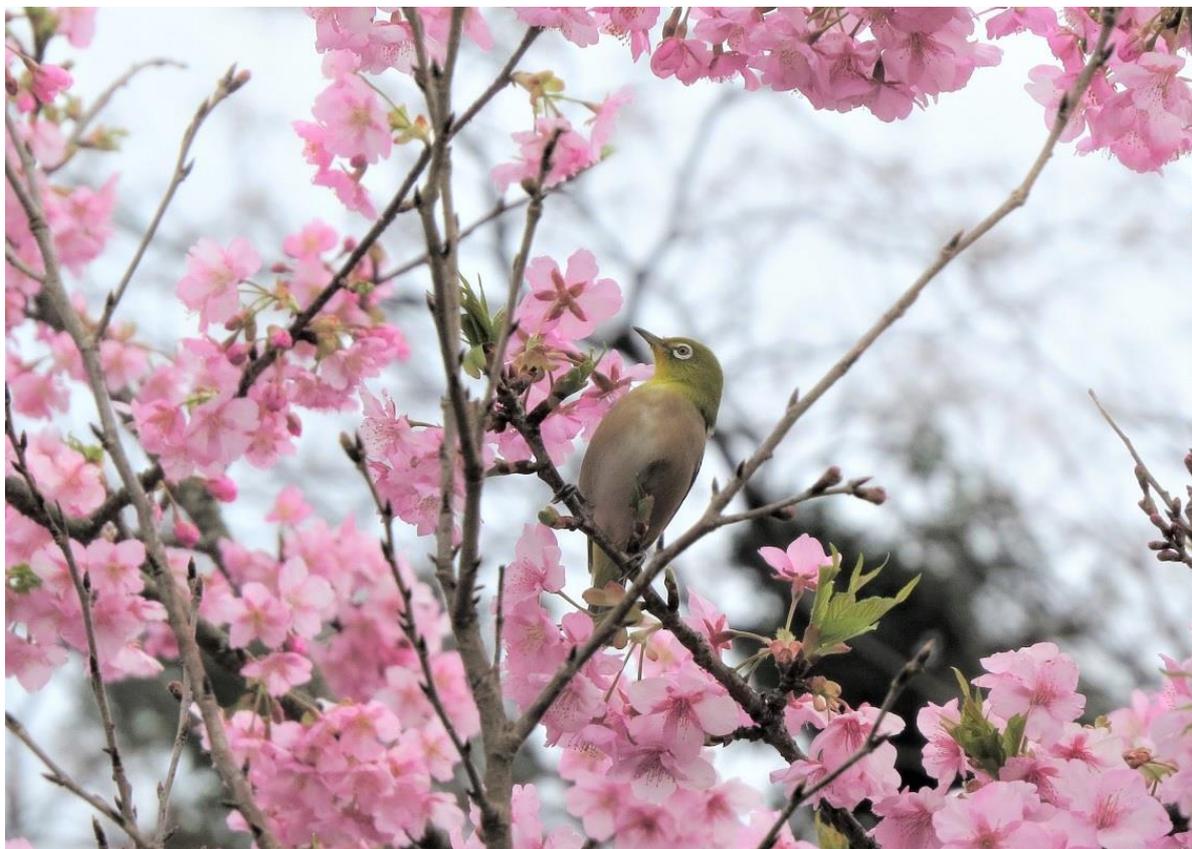
2017年5月号 / No.210 / 平成29年4月11日発行



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



春爛漫！ (撮影：ハネひとみさん)

野鳥さが210号 主な内容

- 役員会報告2ページ
- 支探鳥会リーダーズフォーラム参加報告.....3ページ
- 支部からのお知らせ4ページ
- 各地の観察会報告5ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から.....9ページ
- 皆さんからのおたより10ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報.....16ページ
- 近隣地区の観察会情報.....18ページ
- 観察会会場までの案内19ページ
- 観察会などのお知らせ (2017年4月~6月)20ページ



役員会報告

(事務局:島田洋)

【日 時】2017年2月26日、3月26日

【出席者】(2/26) 宮原明幸、青柳良子、田中丸雅雄、橋本泰博、加藤芳隆、江口富美子、島田洋 (3/26) 宮原明幸、青柳良子、田中丸雅雄、橋本泰博、加藤芳隆、馬場清、江口富美子、坂田紀子、山崎章弘、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) 九州・沖縄ブロック大会について

次のブロック大会は筑豊支部担当で、5月20日～21日にかけて「英彦山青年の家」を会場として開催される。参加申し込みは支部でまとめて行なう。参加希望者は担当者(島田洋:携帯090-2393-1286)まで連絡をお願いします。

(2) 森林公園意見交換会について

3月8日に森林公園野球場特別室で開催された。土木事務所、公園関係者、野鳥の会、水ものがたり館、地元住民などが参加した。佐賀県支部からは、森林公園を「子供たちの自然体験の入り口のような存在にしたい」という内容などを話した。

(3) 貸し出し用双眼鏡について

観察会用の貸し出し用の双眼鏡を購入する。貸し出す際には、観察会参加受付の氏名に双眼鏡を貸し出した事を記載する。

(4) 伊万里湾のミサゴの巣について

伊万里湾の川浪造船所跡地の鉄塔の上にミサゴが巣を作っている。保全したい。

(5) 東与賀海岸ビジターセンター建設計画の件

ラムサール条約関係で、東与賀海岸にビジターセンターを作る構想がある。

(6) その他、愛鳥普及活動、支部の旗新調、観察会時の保険、役員手当、今後の行事予定などについての協議を行った。

支部総会開催のお知らせ

2017年度支部総会を下記日程で開催します。2016年度の成果や反省を踏まえ、今年度の活動方針を決める大切な場です。これからも佐賀県支部を盛り上げていくためにも、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。

【日時】6月4日(日)10:00～ 【場所】佐賀市大和町石井樋公園の「水ものがたり館」

※当日は08:00から石井樋公園観察会を行います。観察会終了後、引き続き御参加下さい。また、参加される方は事前に送付いたします「支部総会議案書」をご持参下さい。





支探鳥会リーダーズフォーラム参加報告

(事務局:中村さやか)

1月28日(土)~29日(日)に東京の八王子で行なわれた、「探鳥会リーダーズフォーラム東日本」に参加しました。

一日目は午後よりオリエンテーション、ワールドカフェ方式による話し合い、分科会Aが行なわれました。分科会Aは「入会につながるインターネット活用術入門」と「野鳥の行動観察から環境保全を目指す探鳥会」の二つが行われ、私は「入会につながる・・・」の方に参加しました。現在、佐賀県支部のブログを担当していることもあり、今後どのようにブログを続けるべきか、様々な事例を紹介していただきました。

ブログも大事なのですが、やはり支部はホームページを持った方がいいというお話でしたので、簡単でもいいので、支部の理念や入会方法が分かるホームページを立ち上げたいなと思いました。

夜は懇親会が行なわれ、参加者が持参した様々な地域のお酒類がずらっと並び壮観でした。私も鹿島から「鍋島」を奮発して持って行きましたが、大変好評であったという間になくなってしまい、参加者の方から「このお酒が飲めたので今回参加して良かった・・・」という声まで頂きました。そして、みなさんとの話は尽きず二次会、三次会までお付き合いしてしまい深夜に就寝しました。

二日目は分科会Bが行なわれ、私は発表者として「有明海の現状とラムサール条約」というお話をしました。参加者の皆さんは若い方が多く、有明海でシギ・チドリを見てみたいという方や、逆に全く有明海のことを知らないのか、どんなところなのか純粋に知りたいという方もおられました。有明海のユニークな生き物や日本一のシギ・チドリの飛来地といった楽しい話題だけでなく、有明海が抱える問題(諫早干潟や佐賀空港オスプレイ配備、漁業不振、カモの海苔食害など)も同時にお話ししました。

これらの問題はなかなか一筋縄ではいきませんが、支部としても少しずつでも取り組む問題だと思っています。

また、ラムサール条約についても、登録のメリットや効果などを紹介しました。

関東のあたりでもラムサール登録を目指している湿地が複数あるようで、NPO 団体ができることや、自治体が取組みなくてはならないことなど、今回のフォーラムの期間中に複数の方から質問がありました。有明海のラムサール登録地は今、とても注目されていると感じました。

一泊二日の短い期間ではありましたが、お名前だけ知っていて実際お会いしたことがない方々といろいろな話をするのができ、様々なつながりが生まれたことが今回一番の収穫だったと思います。このつながりを今後も大事にしていきたいです。

そして、今回のフォーラムで東よか干潟と肥前鹿島干潟をかなりPRしましたので、春のシギ・チドリのシーズンには関東からたくさんの方が観察に見えられると思います。支部の皆様がたも、両干潟で他県からのバードウォッチャーの方と会われましたら、ぜひ佐賀県支部の宝のご案内をよろしくお願いいたします!!





支部からのお知らせ



◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

209号（1月末発行）でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを含めてご紹介いたします。

1月入会	小村	ミヨ子さん（佐賀市）
2月入会	岡崎	章さん（福岡県小郡市）
3月入会	水田	利穂さん（佐賀市）

以上3名の方が3月末現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は210名です。

これからも皆さんのお知り合いの方で「自然に関心のある方」がいらっしやいましたら是非 野鳥の会入会のお誘いをしてください。

県外探鳥ツアーのご案内

春の渡りを満喫しよう！

①長崎県「野母崎・樺島」探鳥会

【日 時】 5月4日（みどりの日）

【探鳥地】 長崎市 野母崎・樺島

【見どころ】 軍艦島が見える野母崎へ、地元ではなかなか出会えない小鳥たちを見に行きます。 昼前に到着し、夕方までのんびり観察します。

集合は、鳥栖方面の方は AM6:30、佐賀方面の方は AM7:30 を予定。

集合場所、費用は直接加藤さんに問い合わせてください。

【申し込み先】 加藤 芳隆さん（上峰町・携帯：090-4510-1560）まで。



②山口県「見島」探鳥ツアー

【日 時】 5月5日（金・祝）～5月7日（日）

【探鳥地】 山口県萩市『見島』

【見どころ】 毎年恒例となった見島に、春の渡り途中の鳥達に会いに行きます。

見島は、山口県萩市沖 45km の日本海に浮かぶ孤島です。

この時期、大型小型のヒタキ類やムシクイ、セキレイ類が大挙して通過して行きます。尚、島にレンタカーはありませんので徒歩で見て回ります。

※佐賀より車に乗り合わせて行きます。

【費 用】 2万円強の見込み 【申込み締め切り】 4月20日頃

【申し込み先】 宮原 明幸さん（佐賀市・携帯：090-2507-7085）まで。

※ いずれも詳細はそれぞれの担当者に直接問い合わせてください。



各地の観察会報告



■支部新年会の報告

【日時】平成29年2月3日 【場所】「さかなや道場 佐賀南店」

【参加者】青柳隆、上野武美、江口富美子、加藤芳隆、蒲原留美、古賀郁香、島田洋、田中丸雅雄、徳淵義実、中原正義、永島博、橋本泰博、服部二郎、馬場清、久富文江、福田康典・奥さま、松田信義、松原忠夫、宮原明幸、八木ひとみ、吉澤進、青柳良子（案内役）

【案内役より】

久しぶりの新年会でした。調べてみました！平成25年2月以来でしたので4年ぶりです。あの時は13名の参加者でしたが、今回は23名もの参加者でした。

「今日の会の目標は『参加者全員の顔と名前を覚えること』です。」と伝えながら受付をしました。野鳥も名前が解ると嬉しいですから、会員同志もお互い名前を知ったら観察会もより楽しいものになると思うからです。司会を橋本さんをお願いし、宮原支部長の挨拶で始まりました。参加者一覧表の順番に「自己紹介」・・・

これが盛り上がり 盛り上がり！気が付いたら21:00を回っていました！帰りの列車の時刻も心配なので、あわてて「おしま〜い！」

「二次会行く人〜！」の呼びかけあいも盛んに聞こえて来ました。

楽しくって 楽しくってこのままでは終われない・・・そんな感じで閉会となりました。今年は土・日ではなく敢えて「金曜日」としてみました。

・・・お仕事の後会社から・・・という方もいらっしゃいました。

いかがでしたでしょうか？ 来年も計画したいと思います。ご感想・ご意見などございましたら、青柳（090-1659-7353）までお知らせください。

■第215回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】平成29年2月5日

【参加者】川原正嗣、青柳隆、青柳良子、古賀郁香、古澤進、橋本泰博、馬場清、古川昌高、久富文江、上野武美、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、ゴイサギ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、バン、オオバン、タゲリ、イソシギ、キジバト、ドバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シヨウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

今回は森林公園との共催での観察会でした。天気は雨。屋根のある休憩所で受付をしました。野鳥の会関係では11名、森林公園からは一般参加者7~8名に公園の職員さんも5~6名参加しての合同観察会です。

休憩所前でスズメやシジュウカラなどを観察した後は嘉瀬川へと向かいました。

目当てはカモです。小雨の中での観察が続きます。参加者にフィールドスコープ

を覗いてもらいながら説明をしました。小学生や幼稚園の子どもさんも喜んでくれたのが嬉しいことでした。野外での観察会終了後は、野球場内の一室で、野鳥談義とスズメのぬり絵です。スズメのくちばしがどんな色だったのかなど記憶が実にあいまいでした。森林公園の職員さんたちも参加してもらったのは大きな収穫だったと思います。今後にかきたいものです。

■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

①【日時】 平成29年2月12日

【参加者】豊岡三郎、橋本泰博、内田英丸、宮原明幸、松原忠雄、松原はま子、宮崎浩二、青柳良子、青柳隆、原秀親、川部静也、吉澤進、川原直嗣、田中照美、古賀郁香、徳淵義実、高山英一、津山悦子、久富文江、古川昌高、大川幸子、馬場清、中村さやか、小松常光、小松茂子、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】アカツクシガモ、ツクシガモ、マガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オオハシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、クロツラヘラサギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ハクセキレイ、オオジュリン、ヒバリ、スズメ、ハシボソガラス

【案内役より】

朝から冷え込むが、快晴無風の天気。本日のテーマは10日前から観察されている「アカツクシガモを見よう」。堤防に上がると、干潟の上には朝日を浴びてズグロカモメ、ツクシガモが広がる。中央付近に移動すると、オオハシシギの群れの中にコオバシギを見つける。西の海上にアカツクシガモの情報が入り、10名ほどが西に1km移動する。残った人は中央部から、2~3km先に浮かぶアカツクシガモを見る。鳥合わせ後に、アカツクシガモは300m程まで近寄ってくれた。猟期最後の休日のため、沖ではカモ撃ちの銃声が響いていた。



（写真提供：加藤芳隆さん）

②【日時】 平成29年3月12日

【参加者】吉澤進、江口富美子、志田かおる、志田祐太郎、友岡周一、徳淵義実、川原直嗣、福田康典、豊岡三郎、古賀郁香、川部静也、内田英丸、山中美由起、久富文江、津山悦子、山本祐子、大川幸子、宮崎明美、佐藤政明、岡崎章、岡崎道代、牛島尚子、牛島秀榮、宮原史枝、小村ミヨ子、中村さやか、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、カワウ、アオサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、オオハシシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アオアシシギ、トウネン、ハマシギ、ユリ

カモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、ヒバリ、ツバメ

【案内役より】

朝から快晴で潮高も 5.4m と絶好の観察日和です。
本日のテーマは「夏羽になりかけた鳥をさがそう」
まずは頭の黒いズグロカモメが目立つ。
次に首の黄色くなったクロツラヘラサギ。ハマシギの
腹には黒点が。胸がうっすらと赤くなったオオソリ
ハシシギが 1 羽。満潮時には目の前に多くの鳥たちが
集まり、佐賀市内から初めて東よか干潟に来た親子は、
まるで「ダーウィンが来た」の世界と感激されていた。
大授搦でのツバメの初見、ウグイスの初鳴き、と春を
感じさせる観察会でした。



アカツクシガモ
(写真提供：加藤芳隆さん)

■林業試験場観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 2 月 26 日

【参加者】青柳隆、青柳良子、岩永正克、岩永由美、内田英丸、江口正義、江口富美子、
江口盛平、大川幸子、織田トモエ、織田宏、加藤芳隆、蒲原留美、川上武彦、川原
直嗣、古賀郁香、島田洋、高木宏子、高木義彦、高崎由美、高崎洋三、高山英一、
田中照美、長岡保、徳淵義美、中島修、中島由美子、西川正記、二宮尚子、橋本
泰博、原秀親、福田康典、洲上巳織、古川恵子、古川昌高、山中美由起、
宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、
コサギ、トビ、チョウゲンボウ、モズ、カササギ、ハシ
ボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、
ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ムクドリ、シロ
ハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、
アトリ、カワラヒワ

【案内役より】

今朝、庭でウグイスが鳴きました。春の兆しに誘われ
てか？ 36 人（初参加 6 人）もの参加です。
朝一番の下見では・・・園内の雑木は刈込まれスカス
カに空いていて小鳥の姿も疎らでした。
カワラヒワ、ヤマガラ、シロハラ・・・と定番の鳥ば
かりで、種類も 26 種でしたが、会員の皆さんが初参
加の方々へ一種一種丁寧に説明される様子が和やかで、
大変よい探鳥会でした。



(写真提供：加藤芳隆さん)



(写真提供：八木ひとみさん)

■小城公園観察会報告（小城市）

【日時】 平成 29 年 3 月 5 日

【参加者】青柳良子、中島修、中島由美子、川原直嗣、松原忠夫、松原はま子、高山

英一、川部静也、大藤和浩、大藤孝子、田辺憲子、高木義彦、高木宏子、長岡保、宮崎浩二、川上武彦、福田康典、内田英丸、淵上巳織、深村 徹、古賀郁香、古川恵子、高崎由美、古川昌高、小村ミヨ子、宮原史枝、中原正義、久富文江、大川幸子、江口富美子、蒲原留美（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、コサギ、ミサゴ、キジバト、ドバト、カワセミ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ（声）、エナガ、メジロ、カワラヒワ、アトリ、イカル、スズメ、ムクドリ、カササギ、ハシブトガラス（23種類）

【案内役より】

やや曇天の中始まった観察会、昨年とほぼ同じコースにしました。

鳥居よりスタート（ミサゴ） ①公園内西側にある大きい池（カイツブリ、コサギ） ②梅の広場付近（キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、カササギ） ③ヤドリ木を通過し坂道へ（アトリ、シジュウカラ、イカル、ジョウビタキ） ④石畳の広場（ゴマダラチョウの幼虫） ⑤坂道を上り神社を抜け石碑の広場へ（メジロ、ウグイス、シロハラ） ⑥石碑の裏の広場へ（エナガ） ⑦坂を上り高台へ ⑧階段で梅の広場へ（ツグミ、ハト） ⑨門を出て鳥居へ（カワセミ）ゴール。

全体的に、渡る前の鳥と春先に見られる鳥の両方を観ることができました。

また、前日に二宮さんと青柳さんが見つけられたゴマダラチョウの幼虫も観察することができ、探鳥だけではなく、生態系についても考える機会を得た観察会となりました。少し残念だったのは、ヤドリ木の実がすっかり熟していたのに期待していたレンジャクが観られなかったこと、カイツブリの子育てやゴイサギなどが観られた池が護岸工事で様子が一変してしまい、観察ができなくなっていたことがあげられます。人にも鳥にも優しい環境整備のあり方を考えさせられました。

青柳さんの補助をいただきながら、昨年从小城公園の案内役をさせていただいております。今回、つたない案内の中で「鳥の名前がわかると更に鳥を観ることが楽しくなりますね。」の言葉をいただきました。案内役としてとても嬉しい一言でした。どうもありがとうございました。

■宇宙科学館周辺観察会報告（武雄市）

【日時】 平成 29 年 3 月 26 日

【参加者】大藤和浩、大藤孝子、徳淵義実、今泉隆、今泉りえ子、田辺憲子、吉澤進、田中照美、川原正嗣、長岡保、青柳隆、青柳良子、古賀郁香、島田洋、高山英一、高山雄太、福田武利、原秀親、原口由紀子、乙成義基家族6名、山中美由紀、川内愛佳、川内直人、宮原明幸、江口勝高、上野武美、江口富美子、久富文江、橋本泰博、小林圭一、小林由枝、川口美智子、川口真季、高木宏子、高木義彦、坂田紀子（案内役）、馬場清（案内役）

【観察された野鳥】アトリ、ジョウビタキ、ハシブトガラス、ウグイス（声）、エナガ、ホオジロ、カワラヒワ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、コゲラ、メジロ、ハシブトガラス、キセキレイ、カワセミ、ヒドリガモ、マガモ、カイツブリ、ツバメ、ハイタカ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、スズメ、モズ、アオサギ、ツグミ、

シロハラ、アオジ、クロジ、カシラダカ、カワウ、トビ、アオゲラ（ドラミング）、ミヤマホオジロ、キジバト

【案内役より】

初めての開催地で参加者はどうかなあ〜？ 数回の下見では鳥も少なく、数種類の確認をただけで不安でした。 また、その日は曇り空で、観察会を始める前には鳥は出て来ないかも??の“ことわり”のあいさつをするほどでした。

ところがです、なんと初めての方、可愛い女兒から白髪のお紳士？まで老若男女、合計43名の参加者の皆様で大賑わいで、リーダー2人は説明やら事故防止やらで喜ばしい悲鳴を上げる寸前でした。

また、鳥くん達も驚いて出てくれたのか？ 歓迎しての大盤ぶるまいで、35種類を観察することが出来ました。野山、里山、水辺に生息する種類が多く見られて参加の皆さんも喜んでおられたようでした。

今後の開催地候補に上がった程でした。

(馬場清さんの談)



(写真提供：馬場清さん)



最近の新聞・

情報誌の記事から



(17/2/17 付け：佐賀新聞)

最後に、私の提案を申し添えます。役所に環境課という部署がありますが、その中に自然環境係を設置していただくと、自然保護や環境保全への期待が高まるような気がします。多種多様な野鳥と触れ合う機会に恵まれたわが郷土の姿をそのままに、と願わずにはいられません。

私の主張

昨年末、元の市民交流プラザで「小城市に来る野鳥たち」を写真で紹介する展示会を開催しました。

最終日に片付けをしながら、「小城市に来なくなった野鳥たち」を紹介する機会が来なければよいが、この思いがふと脳裏をかすめました。

あるがままが自然の本来の姿でありその保全をおろそかにして人間の都合による便利主義や利益を

優先させ、自然をコントロールし過ぎると、それに反比例して野鳥の種や個体数は激減してしまっています。

身近な例ですが、今、私の地元

あるがままの自然を守りたい

小城市小城市町 青柳 隆 73

です。

「まず、環境のパロメーターと言われる私たち野鳥の生息環境への気遣いをお願いします。あの原発事故を経験した人々は、急に『想定外』という言葉を連発するようになりましたが、放射能被害は決して人間だけでなく、全ての生物の問題だと思えます。人間の身勝手な考えを払拭することが自然保護の原点であることに気付いてください」。





皆さんからのおたより



●新連載「普通動物図譜の鳥たち 第1回」

・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

この図譜は明治40年ごろに刊行された東京博物学研究会で編纂されたものです。私が所有しているものは第4号～第10号の7冊です。11号以降が発刊されたのかどうかは不明です。1～3号は持っていません。図版は彩色石版刷りです。

「日本の古本屋」で検索したところでは11号以降は無いので、10号で完結しているのかもしれませんが。第4号の目次では鳥類は脊椎動物の一つとして取り上げられています。各号の最後には掲載の対象物の解説があります。そこには飼育方法や肉がおいしとかも書かれています。ここに掲載されている鳥類を何回かに分けて紹介します。

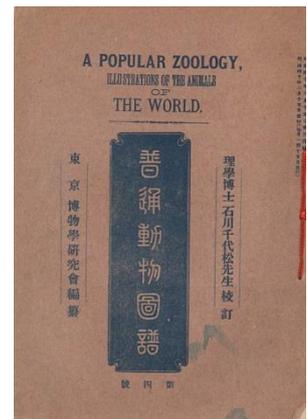
今回は表紙と国鳥のキジとツル類にします。



きじ



たんちやうづる※・まなづる
(※図譜の表記のまま)



表紙

●「写真展のご案内」・・・徳淵 義実さん（鳥栖市）

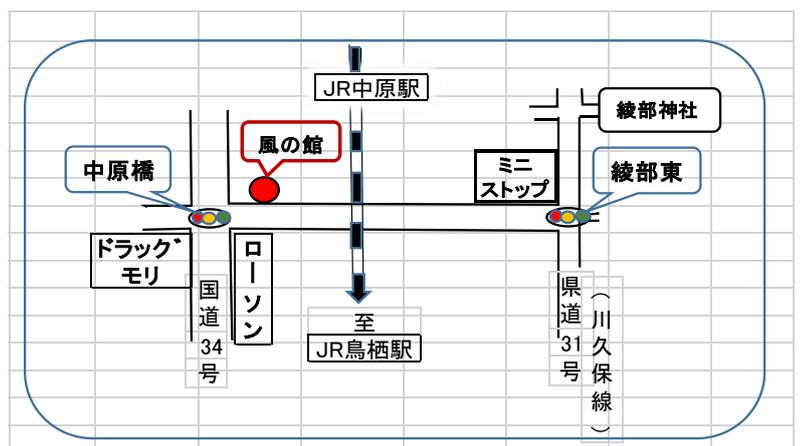
この度、下記の通り写真展を実施することになりました。

【展示概要】石垣島から北海道まで（主に北海道）の心に残った風景写真（約20点）、野鳥写真（約40点）および金属製クラシック一眼レフカメラ展示

【会場】みやき町蓑原の「風の館」

【期間】4月14日～4月29日 10時～17時（火曜日は休館日）

会員の皆様、もし気が向けば遊びにお立ち寄り下さい。どうぞ宜しくお願い致します。



●「台湾探鳥行 その1」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

【日時】平成29年3月9日～13日

【探鳥地】台湾

【参加者】田中照美、中島由美子、橋本泰博、八木ひとみ、宮原明幸

【観察出来た鳥】テッケイ（台湾コジュケイ）、サンケイ、ズグロミソゴイ、ゴイサギ、コサギ、アマサギ、ダイサギ、アフリカクロトキ、クロツラヘラサギ、カンムリワシ、カンムリオオタカ、ハヤブサ、バン、ベニバト、カノコバト、キジバト、ズアカアオバト、ヒメアマツバメ、アマツバメ、カワセミ、セグロコゲラ、台湾ゴシキドリ、ヤイロチョウ、ベニサンショウクイ、アカモズ（シマアカモズ）、ヒゴロモ、オウチュウ、ヒメオウチュウ、クロエリヒタキ、台湾オナガ、カササギ、ヤマムスメ、ハシブトガラス、イワツバメ、リュウキュウツバメ、ツバメ、カワガラス、ゴジュウカラ、シロガシラ、カヤノボリ、クロヒヨドリ、コウグイス、アオチメドリ、メジロ、カンムリチメドリ、ヒメマルハシ、メジロチメドリ、ミミジロチメドリ、ズアカエナガ、台湾ヤマガラ、台湾シジュウカラ、キバラシジュウカラ、チャバラオオルリ、シキチョウ、ジョウビタキ、カワビタキ、ルリチョウ、トラツグミ、シロハラ、アカハラ、ハッカチョウ、カバイロハッカ、ジャワハッカ、クビワムクドリ、ハクセキレイ、キセキレイ、ホオジロハクセキレイ、アトリ、スズメ、コシジロキンパラ（番外）台湾ザル、台湾リス

『台湾の鳥を見に行きたい！』との橋本さんの要望を受け、台湾遠征計画しました。当初は1月の計画でしたが、台湾の大晦日・正月とかぶりガイドと運転手が手配出来ず今月になりました。

3月9日20時35分発のチャイナエアラインで台北へ、佐賀は寒波の到来で冷えていますが台湾は南国、少しは暖かいだろうとタカをくくって来ましたが、さにあらず現地は雨模様、ダウンを着込む寒さです。

通関出口には、今回お世話になるバードウォッチングガイド？の『呉さん』がお迎えです。旅行会社とは、野鳥ガイド+通訳ガイドと運転手3人で話が進んでいましたが、直前になって日本語の出来るバードウォッチングガイドの『呉さん』1名と運転手に変更されました。車も8人乗りワゴンを、小型バスに変えています。迎えに来たのは、普通のバス・・・ビックリです。初日は寝るだけ。

3月10日

朝食後、7時に最初の目的地『八仙森林遊楽区』へ向け出発します♪バスは、小型に変わっていました。第一高速公路を台中まで170キロ程下り、台中より山へ入ります。早速、車窓よりウォッチング開始、異国の風景が流れて行きます。ツバメ、サギ、ハト、、、車はスピードが出ていて同定は無理！直ぐに流れ去ります。



トイレ休憩で立ち寄ったサービスエリア、鉄塔の上に「ジャワハッカ」と「カバイロハッカ」がいます。皆さん、最初に出た南国の鳥にチョビット興奮気味。高速を下り、台中でしょうか？街中を走ります・・・色褪せた看板にハト数羽『ドバト？』

『違います！ ベニバトですヨっ！』『電線にオウチュウ！』『こっちも、ほら電線！』
『ツバメは？ ただツバメ？』『あれ、ホラ電柱、あれ何っ？』『なあんだ、シロガシラ』
『スズメは同じ？』 もう車の中は大騒動！（笑）



ジャワハッカ



ベニバト



オウチュウ

景色はガラッと変わり大きな川沿いの山道へ、見慣れぬ鳥影を横目に進みます。
ジュラシックパークさながらの八仙森林遊楽区のゲート(有料)をくぐりさらに山の奥へ、
整備された公園に到着です。

着くと同時に、中島さん『木の上に台湾オナガがいます！』 焦ります。

望遠鏡をつかみ車外へ、なんとか見ました（汗）

周りを見回します。 遠い枯れ木に鳥影！ 早速望遠鏡を合わせます。

真っ赤な腹に真っ黒の頭「ヒゴロモ」が番いで止まっています。 幸先良い出だしです。

其処此处で、馴染のない鳥の歌が聞こえています♪

案内の呉さん、昼食の時間とメニュー決め・・・後はほったらかし???

勝手に廻りましょう。 先ずは川岸へ。案内板が有ります・・・文字は読めませんがカワ
ビタキ・ルリチョウ・カワガラスの絵は判ります。

「カワビタキ♀」が出ます。 警戒する様子もなく近づいて来ます。♂も飛びます。

駐車場で車の下をチョロチョロしていた「カワビタキ♂」を写して来られた橋本さん、

『対馬へ2万円も出して行って4分しか見られなかったのに・・・』と悔やまれています。

居るところには居るんですヨ（^）♪

昼食は 13 時半からとの案内、未だ時間が有ります。 山の方へ移動しましょう。

枝の中を小鳥がチョロチョロ動きます。 冠羽が三角「台湾シジュウカラ」

他にも動きます。 混群です。背中が黒い「セグロコゲラ」、真っ黒ですがシルエットはヒ
ヨドリそのまま「クロヒヨドリ」、「台湾オナガ」も入って来ます。



台湾オナガ



カワビタキ



台湾シジュウカラ

食事の時間になりました。 レストランは公園に併設、観光客も多く席は埋まっています。お昼のご馳走は台湾の郷土料理、八角のにおい（匂い or 臭い）？です。別行動だった橋本さんは、「メジロチメドリ」の可愛い写真を撮られていました。食後は、呉さんも同行で公園奥へ向かいます。駐車場の木に赤い鳥「ベニサンショウクイ♂」 同行している黄色い♀。なんて綺麗な鳥でしょう。



メジロチメドリ



ベニサンショウクイ♀



ベニサンショウクイ♂

後は、出るは出るわ。茶色お腹の「チャバラオオルリ」、青く輝く「ヒメオウチュウ」「うじゃうじゃ」、「アカハラ」、「トラツグミ」、けばけばしい色の「タイワンゴシキドリ」、目つきの悪い「ズアカエナガ」、とんがり帽子の「カンムリチメドリ」&「アオチメドリ」、腹が濃い赤茶の「タイワンヤマガラ」、「メジロ」も出ます。「ホヘン・ホヘン」ヤイロチョウが鳴いています。お腹の黄色い「キバラシジュウカラ」、カシャッ・カシャッ・カシャッ・カシャッ・・・橋本さんのシャッター音の途切れる間がありません。八木さんも鳥に花に大忙し、田中さんは、『あれも初めて♪、これも初めて♪、それも初めて♪』大喜び、中島さんは膝が痛い（涙）と、もう大変！初見の鳥々の和名同定は、ガイドの呉さんがしている訳じゃありません（笑）橋本さん、中島さん、ネットで《台湾山野の鳥 常見100+特有种》を取り寄せ、しっかり予習されています。私も機中とホテルで付け焼刃！呉さん、田中さんをつかまえて『皆さん、凄いです』と感心されたとか。そりゃあ、台湾まで出向いて来る鳥キチ集団！舐めて貰っちゃあ困ります。（^へ^）



上左：チャバラオオルリ
 上中：ヒメオウチュウ
 上右：ズアカエナガ
 下左：カンムリチメドリ



呉さんより『この上、「サンケイ」が良く出るポイント』と案内され登って行きます。神様か仏様か知りませんが祀ってある奥の杉道へ入りますが、崖崩れで行止まり。そろそろ暮れ出しますので戻りましょう。

帰り道、前に行くカメラを持ったアベック♪ 何か見付けて写そうとされていますが、しきりにこちらを気にされている様子？ 近づきましょう。

『獣が居る、白い尻尾で身体は黒い！』と橋本さん 『えっ、ハクビシンですか？』果たして「サンケイみ」でした。

先のアベック、私達にこれを教えてくれたようです（謝謝）フェルト生地を張り付けたような真っ赤な肉腫、白い関羽と背中に尾羽、目の覚めるような青と緑・赤紫の胸部、綺麗だけど異様な鳥です。警戒する様子もなく草叢で餌を食べています。『ここは「サンケイ」の出るポイント、ここには夕方良く現れる』いきなり呉さんの解説（>_<）“初心者バーダーの知ったかぶり解説みたいで嫌だな。”これで幕、宿へ向かいます。



サンケイ

宿は、谷関温泉公園の《谷関温泉飯店 KU KUAN HOT-SPRING》連泊です。宿は川沿いに建ち、横には小さな吊橋が掛かり橋の下は露天風呂、対岸はホテルが立ち並んでいます。上流部は絶壁、下流部は広い河原です。カワビタキの声と吊橋横のパイプに『ルリチョウ』番いのおまけで、2日目は終わりました。

今日出た鳥は40種！ 台湾ビールでヒゴロモに乾杯！ サンケイに乾杯！

後は台湾料理で舌鼓（^^♪

山は青空、鳥もわんさか・・・クロヒヨドリ、ヒメオオチュウ、ベニサンショウクイ、台湾オナガは佐賀のカラス顔負けの密度！ 明日もまた好い日になりますように。

3月11日

5時起床暗いうちから近くの公園へ鳥を探しに出かけます。夜が明けないことには話になりません。最寄りのコンビニを覗きます。（台湾にはファミリーマートとセブンイレブンが進出していました。品揃えは日本と、似たり寄ったり 一少し商品は、少ないかな？ ですが、どちらも煮玉子の鍋があり「八角」の匂いが店中漂っています。）

派出所前の公園です。馴染の無い鳥達の歌声が聞こえています。直ぐ目の前の木の中ですが見られません。同定出来たのはクロヒヨドリに台湾オナガ、キジバト、スズメと、少しガッカリ。

朝食に戻ります。朝食はバイキング・・・鶏足の煮物八角風味を食べました。

宿の駐車場では「ルリチョウ」のお見送り。バスに乗り込み昨日の八仙森林遊楽区へ出発！ 今日朝から上天気、山の端を翼幅の広い猛禽が舞っています。

昨日の道をたどります。地元のカメラマンが何人も大きなレンズを構えています。

早速、呉さんに何を狙っているか？ 聞いて貰いましょう。

コンクリートの塔？の上の水溜りに水浴びに来る鳥でした。水溜りを利用する鳥は多いようで、昨日橋本さんがクロエリヒタキをゲットされたのもこの辺り、首から腹まで赤茶色の「ゴジュウカラ」が来ました。

※「台湾ヤマガラ」も「ゴジュウカラ」も、グロージャーの規則で色が濃いのでしょうか？「クロヒヨドリ」は違いますよね？

今日は台湾も土曜日、散策している人が多い！

拡声器まで持った集団もいます（×_×； 人気の無い場所を選んで移動します。

ヒメオウチュウが明るく歌っています。ベニサンショウクイが飛び台湾ゴシキドリが止まります。クロヒヨドリや台湾オナガは邪魔！（笑）

また先の猛禽、今度は近い。翼と尾羽に白帯「カンムリワシ」でした。タカも出ます。尾羽の脇が真っ白！ 同定出来ません。



クロヒヨドリ



クロエリヒタキ



台湾ゴシキドリ

あっという間にお昼、レストラン向かいます。「クロエリヒタキ」に「チャバラオオルリ」なかなか辿り着けません。食事は、郷土料理八角風味！

『「ヤマムスメ」が観たい』と呉さんに申し入れます。

電力会社の敷地で観られるとの返事、谷関温泉公園へ戻ること。

呉さんの料理が遅れて来ました。食事が終わるまで外で待ちましょう。

メジロチメドリがピンクの花ブーゲンビリアの中をチョコチョコ、杉の中ではニャーア・ニャーアと鳴く声？ 声の主は、台湾オナガだったようです。コウライウグイスを期待したのですが（>_<）

川では「コシジロキンパラ」の群れ「キセキレイ」もピョコピョコピョコ。

ヤマムスメは朝夕が良く出るとの説明ですので、派出所前の公園に立ち寄りましょう。

朝は気付かなかったのですが、公園は吊橋を渡った奥の方まで遊歩道が続いています。

ここも人が多い！ 川沿いより森への入り口、「ヒメオウチュウ」が飛びます。

直ぐに「カンムリチメドリ」、「セグロコゲラ」、「アオチメドリ」、「クロヒヨドリ」が現れ・・・

「ミミジロチメドリ」まで出ます。振り向けば「アカモズ（シマアカモズ）」通行人などお構いなしです（^^♪

呉さん、最初に案内されたヤマムスメのポイントは工事中で立ち入り禁止。次は、電力会社の敷地、大きな通りから脇道へ入ります。畑に鶏小屋があります。番犬が私たちに吠えます。作業の方が私達へ何やら声を掛けていますが、もちろんチンプンカンプン？？？呉さんに話して貰います。『此処へは朝と夕方に来ます。昨日も3羽来ました。パイパイを植えてあったけど台湾サルが全部食べてしまった。』

こちらもチンプンカンプン（×_×；

『ヤマムスメは、群れで騒ぎながら来ます。』と呉さん、『ヤマムスメはどんな声です？』と橋本さん、呉さん『・・・』兎に角、待ちましょう。「コジュケイ」が鳴いています。

「カンムリチメドリ」が来ます。 向かい側の森からはアカヒゲ?のような歌声も・・・
ヤマムスメは出ません。

作業の方が呉さんと話されています『もう暮れるから、ヤマムスメ来ない』と。

明日は、台北へ戻ります。朝食前に再挑戦することに決め、宿へ。

ミミジロチメドリに乾杯！

(※写真はすべて橋本泰博さん提供)

●「デジブック紹介します」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

『2月 鳥見』

<http://www.digibook.net/d/2a95a3f7b1cd96fcbf5998665c9757dc/?m>

『東よか干潟』アカツクシガモに会いたい

<http://www.digibook.net/d/5ed5c377800f94f0373b92f0929e979c/?m>



皆さんからの野鳥&生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

- 1/22 【上峰町鎮西山】アオジ、エナガ、ヒヨドリ、シロハラ、イカル、ハシボソガラス、ハイタカ、ルリビタキ、アオゲラ、メジロ、ノスリ、ソウシチョウ
【佐賀市大和町】オシドリ60羽、コガモ、カワアイサ、カワガラス、ノスリ、ホオジロ、ジョウビタキ、アオサギ、エナガ、メジロ、カワウ、カワセミ
- 1/29 【東よか干潟】ツクシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、マガモ、ヨシガモ51、オオハシシギ9、ミヤコドリ12、マガン1、ヒシクイ5、ヘラシギ1、クロツラヘラサギ21、トウネン1、ツルシギ5、ホウロクシギ1、チュウシャクシギ1、アオアシシギ、アカアシシギ、メダイチドリ、シロチドリ、ズグロカモメ、ユリカモメ、ミサゴ、ハヤブサ
- 2/11 【東よか干潟】クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、ツクシガモ、アカツクシガモ、ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、アオアシシギ、ツルシギ、オオハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ハマシギ、チュウシャクシギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミサゴ、ハイイロチュウヒ♀
- 2/19 【佐賀市久保田町】アカツクシガモ、ツクシガモ、ミヤコドリ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、オナガガモ、マガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ
【小城公園】イカル、カワラヒワ、ジョウビタキ♂♀、メジロ、シロハラ、ヒヨドリ、アオジ、ウグイス、シジュウカラ、カササギ、ハシボソガラス、ダイサギ、アオサギ
【佐賀市大和町】オシドリ10、カワセミ、ホオジロ、ジョウビタキ、カワガラス



【上峰町鎮西山】ルリビタキ、メジロ、エナガ、リュウキュウサンショウクイ（声と飛んでる姿のみ）、シロハラ、ヒヨドリ、ツグミ

2/26 【東よか干潟】アカツクシガモ

【佐賀空港周辺】キジ、トビ、チョウゲンボウ、モズ、カササギ、ヒバリ、ジョウビタキ、タゲリ、ホシムクドリ、アオサギ、ダイサギ、スズメ

3/1 【上峰町の自宅】ルリビタキ、ジョウビタキ、エナガ、シロハラ、カワセミ、ヒヨドリ、メジロ、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス

3/15 【東よか干潟】オオソリハシシギ3

3/19 【佐賀空港】アオジ、モズ、ツグミ、キジ、カワウ、カシラダカ、ホオジロ、アオサギ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、ヒバリ、キジバト、ハヤブサ、オオチドリ



オオチドリ →

■八木 ひとみさん（佐賀市）

3/18 【佐賀市大和町】カワアイサ♀4 【神崎市脊振町】ノスリ

3/19 【佐賀空港】オオチドリ、モズ♂、♀

3/25 【佐賀空港周辺】ハヤブサ



カワアイサ



ノスリ



モズ



ハヤブサ

※県外の野鳥情報

■島田 洋さん（佐賀市）

3/28 【高知市】シロハラ部分白化？

先日、高知市内で変な野鳥を目にしました。シロハラだと思いますが、羽があちこち白くなっています。

（3月28日、高知市藤並公園にて撮影）





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：5月7日(日)、6月4日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：5月2日(火)、6月6日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：5月13日(土)、6月10日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：5月14日(日)、6月11日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：4月16日(日)、5月21日(日)、6月18日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：4月23日(日)、5月28日(日)、6月25日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般・中学生以上 200 円 中学生下無料)

日時：4月23日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・黒崎公園 / 集合：10:00 黒崎公園第1公園グラウンド

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

日時：4月29(祝) 10:00~11:30 春の有明海・東よか干潟 (企画探鳥会)

場所：佐賀市・東よか干潟 / 集合：10:00 東よか干潟展望台

担当：江口浩喜さん 携帯：090-4516-1123

日時：4月30日(日) 9:00~12:00 溪流の鳥・矢部川 (企画探鳥会)

場所：八女市・矢部川 / 集合：9:00 八女市黒木ふじの里

担当：松富士将和さん TEL：090-7159-3933

MINI BIRD GALLERY

(撮影：八木ひとみさん)



アカツクシガモ



タゲリ



カワアイサ

~野鳥さが原稿募集中~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp

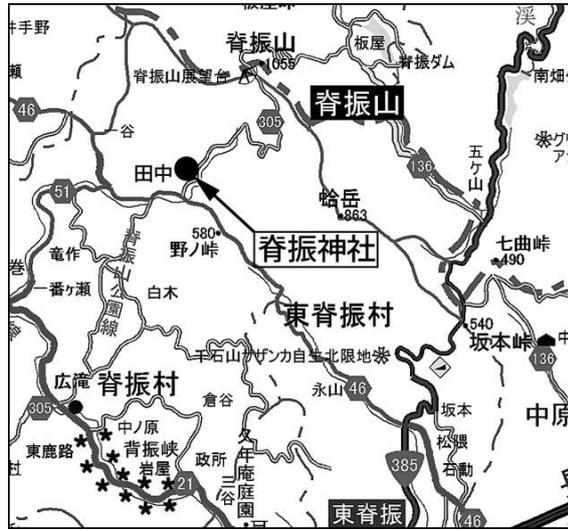




観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①4月16日 神崎市・脊振山



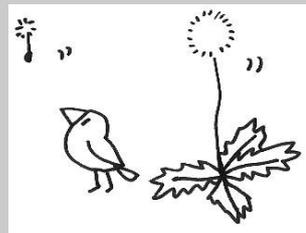
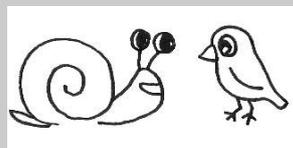
②4/23 ⑨6/4 佐賀市・石井樋公園



③4/29 ⑦5/14 ⑧5/28 東よか干潟



⑥5月7日 唐津市・虹の松原





観察会などのご案内 (2017年4月～6月)

①4月16(日)

脊振山観察会(神崎市)

[時間&場所] 09:00

神崎市脊振町腹巻の脊振神社下宮駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 春の渡りの季節です。気の早い夏鳥たちや、さらに北を目指す鳥たちに出会えるかもしれません。

②4月23日(日) ⑨6月4日(日)

石井樋公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] (4/23)9:30 (6/4)8:00

佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」

[担当] 青柳 良子さん(小城市)

[携帯] 090-1659-7353

※6/4の観察会終了後は10:00から支部総会を開催します。

③4月29日(祝) ⑦5月14日(日)

東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225

加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560

[見どころ] 東よか干潟が一年で一番賑わう季節です。日本初記録の鳥もこの時期が多い? 皆さん見逃さないように!!

④5月4日(祝)

長崎県 野母崎・樺島探鳥行

⑤5月5日(祝)～7日(日)

山口県見島探鳥ツアー

※4ページに案内を掲載しています。

参加希望者は直接担当者に申し込んでください。

⑥5月7日(日)

虹の松原観察会(唐津市)

[集合] 09:00 虹ノ松原忠霊碑前

[担当] 佐久間 仁さん(唐津市) 090-8407-8347

[見どころ] 松林の主役 キウイタダキ・ビンズイヤシジウカラ・ヤマガラ・エナガなど、身近な野鳥を観察します。

⑧5月28日(日)

初心者のためのバードウォッチング

in 東よか干潟(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台

[担当] 中村 さやかさん(鹿島市) 080-8863-5659

※自然に関心のあるお友達がいらしたら、是非お誘いして下さい。会員の方もたくさん参加してください。

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
 事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)
 〒849-1315 鹿島市三河内2974-1
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」